

後藤 章子



市民本位の「行財政改革」を

質問 公共事業は、住民生活にとって真に必要なものにとどめるべきと思うが。

答弁 市長

市民と行政の役割・責任の分担による協働のまちづくり、選択と集中による事務事業（必要性、緊急性、有効性、コスト性など）を総合的に考慮していきます。庁舎建設は、財源などをにらみながら検討します。

質問 国保税および一部負担金の減免制度を。

答弁 生活環境部長

18年度中の実施をめどに準備を進めています。（要綱などの検討）

質問 乳幼児医療費の無料化を。

答弁 保健福祉部長

18年度に向けて、小学校就学前までの無料化を検討しています。

質問 介護保険法の改正に伴う利用者の負担増に対する低所得者への減額を。

答弁 保健福祉部長

本来国の責任で制度化すべきであり、市独自の軽減対策は考えていません。

質問

職員の資質の向上が急務。

答弁 総務部長

全職員が初心に立ち返り、市民全体の奉仕者としての自覚を高めていく立場で積極的に対応していきます。

支所機能の充実を

質問

支所に独自財源の保障を。

答弁 総務部長

支所の裁量とすべき事務事業の規模や内容、本格的な本庁方式に向けた支所職

員の配置など、真摯に検討します。



育児学級（絵本の読み聞かせ） 大野保健センター

安藤 豊作



若者の定住促進を

質問

雇用対策として、地場産業の育成支援や企業誘致を。

答弁 市長

長引く景気低迷で企業経営も厳しい状況です。企業の健全な発展と経営

基盤強化のための、各種融資制度の情報提供や、新分野進出に向けた支援を進め、雇用の確保を図ります。

また、中九州横断道路や幹線道路整備が進んでおり、新たな工業適地を探しています。

質問

核家族化が進んでいるので、若者向けの住宅建設を。

答弁 総務部長

現在進めている住宅整備事業の進捗状況をしながら、住宅需要の動向を把握し、ニーズにあった住宅建設を検討していきます。

市有財産の管理は

質問

学校跡地や遊休施設の管理と今後の利用計画は。

答弁 総務部長

小学校5校、中学校2校が未利用です。公の施設としての再利用や周辺地域の利活用も含め、自治会などの意見を聞きながら検討していきます。

質問

市有林の管理計画は。

答弁 産業経済部長

看守人による管理をしており、風倒木などの把握もしています。

現在復旧も検討中であり、18年度に森林整備計画の見直しを行います。



千歳町のさわやか団地